



あだち ゆきお
足立 幸男

京都産業大学法学部客員（専任）教授

【略歴】

1947年名古屋市生まれ。1970年京都大学法学部卒業。同大学院法学研究科修了。帝塚山大学准教授、京都大学教養部准教授、京都大学大学院人間・環境学研究科教授、関西大学政策創造学部教授。2013年4月より京都産業大学法学部客員（専任）教授。

【研究テーマ】

・ 公共政策学原論

【 講演可能なテーマ 】

- ・ 議論論理学——説得力ある議論の組み立て方
- ・ 公共政策分析の理論と手法
- ・ 政策過程論
- ・ 政策規範論

【講演実績】

- ・ 産官学民のセクターを越える議論力・提案力
- ・ 政策プロフェッショナルに求められる資質と能力・スキル

【著書・論文】

- ・ 『政策学的思考とは何か—公共政策学原論の試み』 (勁草書房・2005)
- ・ 『公共政策学入門—民主主義と政策』 (有斐閣、1994)
- ・ 『政策と価値—現代の政治哲学』 (ミネルヴァ書房・1991)
- ・ 『議論の論理—民主主義と議論』 (木鐸社・1984)
- ・ 『公共政策学とは何か』 (ミネルヴァ書房、2009)
- ・ Kazuhiro Ueta and Yukio Adachi (eds.), *Transition Management for Sustainable Development* (United Nations University Press, 2014)
- ・ Yukio Adachi, Sukehiro Hosono, Jun Iio (eds.), *Policy Analysis in Japan: The State of the Art* (Policy Press, in print)